



10/23
(日)

唐琴公民館 人権教育講演会

みんなのしあわせのために

～いっしょに考えよう合理的配慮～

講師
元公立学校副校長
西田 靖 氏



「いっしょに考えよう合理的配慮」
公立学校副校長 西田 靖 先生

- 人生いろいろな行事、場面で何気なく過ごしたことにあまり問題意識がなかったことに気づかされました。社会モデルを理解して合理的配慮の大切さを学びました。すべてに障がいのある方から笑顔を引き出せるかわり方をしたいと思いました。
- ゆっくりと明るくはつきりした話し方で具体的な場面をあげてわかりやすく丁寧に説明してくださいました。社会モデルの考え方や合理的配慮の提供について理解がすすみました。今日学んだことを一人でも多くの人に伝えていきたいと思えます。
- いろいろな演習で具体的な事例を考えていく中で、自分自身発想が乏しくやや偏りすぎたことにも気づきました。バリアを取り除けるようにできることを工夫し、対話と相談に生かしていきたいと思えます。

参加者の感想

和井田保育園

私たちが住んでいる「児島」に興味と愛着を持ってほしい



和井田保育園では、年度始めにその年のテーマを決め、活動をしたり行事に取り入れたりしています。今年のテーマは『だいすき♡こじま ～ええとこいっぱい最高じゃ！～』です。児島の歴史を知ったり、実際に名所を観に行き再現してみたりして、自分たちが住んでいる町への興味と愛着を深めよう という思いを込めました。

夏まつりごっこでは、5歳児が鷲羽山まで瀬戸大橋を観に行き再現しました。また、児島の三白(塩・綿・いかなご)を知り、その中のひとつ、綿を栽培しました。運動会では、鴻八幡宮やジーンズストリート、鷲羽山展望台、旧野崎家住宅などを取り入れながら遊びや競技を楽しみました。今後も発表会



につながっていきます。活動の中で、ごく自然に小さいクラスの子どもたちに対しては“思いやりやいたわりの気持ち”を、大きいクラスの子どもたちに対しては“憧れの気持ち”を持つようになります。異年齢児がかかり合いながら、さまざまな体験を通して、身体的な発達にとどまらず内面の心の育ちにつながるように、日々の丁寧なかかわりを続けていきたいと思えます。

人権メッセージ



「奥心」でみんなが笑顔に

琴浦南小学校校長 星島 佳奈美



10月19日(水)、20日(木)に、一泊二日で修学旅行に行ってきました。小学校生活で初めての宿泊ということもあり、6年生児童は、うれしくてたまりません。どの場面でもとびっきりの笑顔を見せてくれました。その笑顔で、周りの大人も思わず笑顔になりましたが、私たちを笑顔にしてくれたのは、児童の笑顔だけではありませんでした。

本年度の修学旅行のテーマは、「奥心」。「奥心」？それって何？そうです。このような言葉はありません。これは、6学年担任が考えた造語です。「相手の気持ちを考え、心の奥を見ようとする。」という意味だそうです。児島駅での出発式で、「周りの人の気持ちを考えて行動する・マナーを大切にする」ということを確認して、修学旅行がスタート。新幹線に乗ると、前のシートに座っている児童が、「校長先生、シートを倒してもいいですか？」と声をかけてくれ、「どうぞ。」とにっこり。レストランやホテルでの食事の場面では、スタッフが運びやすいようにと、食事後に手早く食器を重ねる姿、見学場所では、後ろの友達を気遣って、そっと場所を移動する姿など、二日間の旅行中、数えきれないほどたくさんの「奥心」の姿がありました。そして、その「奥心」は、周りの人を笑顔にしました。



人は、自分の気持ちを優先しながら行動してしまいがちです。また、表面的な言葉だけで判断し、相手を誤解してしまうこともあります。みんなが気持ちよく幸せに生活するために大切なこと、それが「奥心」だということをこの旅行を通して、強く感じました。

修学旅行後も「奥心」をがんばり続けている私たちの自慢の6年生児童も、この3月で小学校を卒業し、中学校へと巣立っていきます。これからも、「奥心」

で周りのたくさんの人を笑顔にしてくれることでしょうか。

編集後記

今年度夏以降、新型コロナウイルス感染拡大のため、人権学習推進事業に係る活動の多くが中止になりました。そのため今回の人権だより49号はA4判での対応とさせていただきます。ご理解ください。令和5年度もよろしくお願いいたします。(事務局)